



Shikoku
Cancer Center News
No.70

四国がんセンター ニュース



認定第JC1324-3号

2020

1

January

基本理念 患者さんの立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。



(伊予郡砥部町七折 撮影: 俊野 健治)

準備はできた

新年あけましておめでとうございます。昨年の流行語大賞は「OneTeam」でした。今の日本には大変魅力的な言葉です。日本の未来が定まらない今こそ国民が一丸となることが大切だと思います。流行語10傑の中で、私が注目したのは野球界で活躍し昨年3月に引退したイチローの言葉「後悔などあろうはずがありません」です。

当院はがん専門病院として、ほんの数年前までは全国有数のがん登録数を誇っていました。しかし今は愛媛県の中でもがん登録数のトップを他に譲っています。一時的な医師確保の困難や診療体制の弱体化から発したことでしたが、広く県外からも患者が集まっていた当院にとってはがん医療の均てん化など時代の変化によるところも大きいと捉えておりました。

そして今や病院としての価値は扱う症

例数より、診療の質に重点が置かれるようになっていきます。当院は1979年に四国がんセンターを名乗ったときからがん医療の理想の姿を真剣に考え続けてきました。最新の診断・治療機器を揃え、新規抗がん剤の開発・導入に努め、また患者家族支援のあり方も新たに提案しつつ今日に至ります。結果、当院は昨年9月にがんゲノム医療拠点病院の指定を受けました。治験・臨床試験への貢献、家族性腫瘍(注)の実績、臨床検査体制の充実が高く評価されてのことでした。

がん医療の姿は大きく変わり始めていきます。今後の数年間、標準治療終了後のがん患者さんの治療は必要に応じてがんゲノム医療中核拠点病院(全国11病院)またはがんゲノム医療拠点病院(全国34病院)の専門家会議で方針が検討されることとなります。新しいがん治療革命の時代を乗り越えるために当院が取り

組んできた過去20年の準備と実績に「後悔などあろうはずがありません」。一時的弱体化していた診療機能もほぼ回復しました。

「圧倒的に質の高いがん医療を提供したい」その思いを胸に、最近職員がそれぞれの役割を懸命に果たし、各分野で活躍していることを院長として大変心強く感じています。職員だけではなく周りの多くの人たちに支えられていることに感謝しつつ、四国がんセンターはOneTeamで今年もがん治療革命の先頭を走り続けます。

皆様にとって、今年がよい年でありますように。

(注) 家族集積がある遺伝性がんは全体の2～5%程度です。



(院長 谷水 正人)



がん治療

最前線

～婦人科がんでの低侵襲手術～



最近のがん治療のトレンドの一つは“体に対する負担が少ない”治療です。同じ効果であれば、“体に対する負担が少ない”治療を選択することは十分に納得できることと思います。

がん治療での内視鏡手術は技術の進歩とともに発展しており、近年様々な領域のがん手術に導入されてきていますが、その一方で、安易な実施は不完全な治療や大きな医療事故を引き起こすため、慎重に導入をすすめる必要があります。

婦人科領域では2014年4月に 婦人科のがんの中で最も多い子宮体がんの「腹腔鏡下子宮体がん根治術」が健康保険の適用となりました。日本国内では婦人科領域の悪性腫瘍に対する内視鏡手術の導入は、外科

や泌尿器科領域に比べて遅れています。四国がんセンター婦人科では、内視鏡手術を安全に行うために手術の実施体制を見直し、2017年より腹腔鏡下子宮体がん根治術を開始しました。実施に際してはこれまでの治療成績を維持と安全に実施することを最優先に、術前に内視鏡手術が可能かどうかの病状評価を病理医、放射線診断医と十分評価を行い、適応をしっかりと見定めて治療を進めています。

2018年には子宮体癌に対するロボット支援下手術も保険適応となりました。ロボット手術を安全に行うためには、一定のトレーニングを積んだ医師と実施する施設の基準等が定められており、現時点では受けられる病院が限られています。この手術支援ロボット「ダヴィンチ (da Vinci)」による子宮体がん手術についても同年実施体制の整備を行い、四国で初めて導入をしています。ロボット支援手術と言っても、最近はやりのAI（人工知能）を搭載したロボットが自ら考え、勝手に動いて手術を行うわけではなく、人間が行なう手術にロボットの優れた機能を組み合わせた手術なので、これまで開腹手術や内視鏡手術で実施してきたがん手術の理論が応用できるわけです。拡大された立体視野とコンピューター制御されたロボットアームは精度が非常に高く、針孔に糸を通すような細かい作業も簡単にできるので精度の高い手術が可能となります。

がんの手術は、手術が終了したときに成功したかがわかるのではなく、時間がたって病気が再発してこないことを長期間経過観察して初めてその成果がわかります。四国がんセンター婦人科では、これまで通り安全と治療成績を最優先で新しいニーズに対応した治療の実践に努力してまいります。

(手術部長 竹原 和宏)



治験 CHIKEN CORNER

こちらは、治験・臨床試験管理室です。このコーナーでは、ただ今、募集の治験等の情報を提供しています。なお、当院HPにて、詳細情報を公開中です。

(治験主任 峯本 譲)

「当院では治験を実施しています」

●現在募集の治験等情報

下記の件数は企業治験、医師主導治験、製造販売後臨床試験の「現在募集中の治験情報」です。

- 肺がん …………… 16件
- 食道がん …………… 2件
- 膀胱がん …………… 1件
- 卵巣がん …………… 4件
- 子宮体がん …………… 1件
- 悪性胸膜中皮腫 …… 1件
- 大腸がん …………… 4件
- 肝細胞がん …………… 1件
- 固形がん …………… 7件
- 子宮頸がん …………… 1件
- 乳がん …………… 12件
- 膵がん …………… 1件
- 胆道がん …………… 1件
- 悪性リンパ腫 …… 2件
- 子宮癌肉腫 …………… 1件
- 胃がん …………… 9件
- 前立腺がん …………… 3件
- 尿路上皮がん …… 3件

(令和元年11月末現在)



当科では現在、非常勤を含め、歯科医師2名、歯科衛生士3名の体制で業務を行っております。歯科医療従事者として、口腔領域では何よりも感染予防を意識しています。人体の入り口に相当する口腔は、非常に多くの細菌が存在しています。健常時に適切な口腔清掃を実施できれば、生体の免疫力や自浄作用により、口腔内に症状が発現する頻度は低いです。一方でがん治療中は免疫力の低下、体調不良による口腔清掃の不徹底等が原因で、口腔内には様々な有害事象が生じる恐れがあります。

このような有害事象をできるだけ減少し、治療の完遂、QOLを維持することが当科の目標です。口腔粘膜炎等重症化したケースでは、なかなかQOL回復が難しいですので、早期発見・早期対応を目指しています。

医療の標準化を目指し、歯科部門は現在、手術時のクリニカルパス内への参入を検討しております。また、NSTのコ

アメンバーとして活動することで、チーム医療の一端を担うことも継続する必要があります。質の高い医療を目指すうえで各種連携は欠かすことができず、院内での医科歯科連携をはじめ、地域との病診連携・病病連携にも力を入れております。

がん治療は様々な治療フェーズがあり、患者さんのバック



グラウンドは多岐にわたります。口腔内環境も皆さん違った様相を呈します。その多様性に対応できるよう、患者さん一人一人と向き合って、医療に励みたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

(歯科医師 塩田 康祥)



エキスパートナース・メディカルスタッフ

EXPERT NURSE・MEDICAL STAFF

Part.46

医師事務作業補助者 (ドクターズアシスタント)



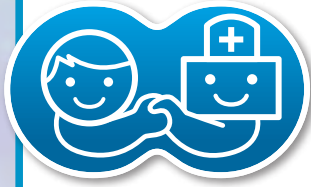
医師事務作業補助者は医師の業務負担を軽減しより医療に専念できる環境を整えるためにつくられた職種です。当院では平成22年に部署として発足しました。当初11人でスタートしたこの部署も現在は34人の大所帯になりました。医師事務作業補助者は医療機関によって呼び方はさまざまに「医療クラーク」「メディカルクラーク」などの名称で呼ばれている病院もありますが、当院ではドクターズアシスタント、

略してDAと呼ばれています。

医師事務作業補助者の業務には、①診断書などの文書作成補助、②診療記録への代行人力、③医療の質の向上に資する事務作業、④行政上の業務、があげられます。具体的には、保険会社からの診断書や、診療情報提供書など文書の作成補助や、医師の隣で電子カルテの代行人力・検査・診察の予約などを行っています。DAに採用されると、医療関連法規や保険制度の概要、個人情報保護、医療用語、電子カルテの操作方法等の研修を受け、指導者の元で実務研修を積み、業務を開始します。医師の業務負担が軽減できることで医師がより診療に集中でき、患者さんと関わる時間が増えたというデータもあり、DAはなくてはならない職種になりました。

また、病院全体での円滑な診療と業務を促進するため、他職種の方たちとのコミュニケーション力が必要とされます。さらに外来診察中は患者さんに近い位置にいるため、患者さんに対する配慮も求められます。チーム医療の一員としての自覚を持ち、DAの業務を確実にを行うことで医師の業務負担軽減と医療現場にさらにお役に立てるよう、日々精進していきたいと思っています。

(ドクターズアシスタント 谷口 智子・宮本 千絵)



お世話になって医ます

星の岡心臓・血管クリニック

四国がんセンターは、初診患者さん全てが地域の医療施設からのご紹介です。ここでは、かかりつけ医の皆さまからうかがった、さまざまなご意見をご紹介します。

星の岡心臓・血管クリニック



星の岡心臓・血管クリニックを訪問してきました。大谷先生は愛媛大学医学部を卒業後、第二内科（循環器内科）に入局されました。済生会西条病院時代に心血管インターベションを開始され、国立療養所愛媛病院（現愛媛医療センター）にて研鑽を積まれて、よつば循環器科クリニックを経て平成26年に東石井に開業されました。

診療の特徴は？

“心臓・血管疾患の確実な診断と治療を基に生活習慣病をコントロールし、「健康寿命を延ばす」ことを患者さんと共に考えて行く”をクリニックの理念として診療しています。心臓・血管を診ることで動脈硬化全般、全身を診て、健康を考えてもらうように取り組んでいます。循環器患者さんはがんの危険因子である喫煙・肥満症・糖尿病の方が多く、がん検診受診についての指導・教育・サポートなども行っています。CTや超音波検査では全身を診るようにも心がけており、肺がんや甲状腺癌、腹部臓器癌が見つかることもよくあります。心臓CTは毎日撮影できますし、カテーテル検査は水・木・金曜日に行っています。令和元年11月より心臓・血管リハビリを開始しました。リハビリを通して、心不全予防、ロコモティブシンドローム、サルコペニア対策の一つにしたいと思っています。

ご趣味は？

若いころは球技全般でした。患者さんへのウォーキング指導が高じて、40歳を過ぎてからマラソンに取り組んでいます。愛媛マラソンは、今回で参加10年目になります。“サブ4”維持に挑戦中です。通勤でも走っています。

連携室に対する要望はありますか？

がん専門病院として信頼して紹介させて頂いております。逆に、循環器疾患疑いのある患者さんは、手術がスムーズに行えるように、当日心エコー、冠動脈CTを、必要な場合は1週間以内に心臓カテーテル検査を行い、状況をお伝えできるように取り組んでいます。



写真左より灘野、大谷敬之院長

幅広い診療内容は、先生のお人柄、努力の賜物であると実感させられました。これからも、地元根付いた診療を目指してがんばってください。

（患者・家族総合支援センター長 灘野 成人）

星の岡心臓・血管クリニック

- 住所：〒790-0932 愛媛県松山市東石井1丁目5-5
- 電話：089-956-5511
- 診療科目：循環器内科・心臓内科・血管内科・内科
- 休診日：日曜・祝祭日



	月	火	水	木	金	土
午前：9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後：14:30~18:00	○	○	○	○	○	休

☑ がんセンターだより

リハビリテーション室 移転

当院でのリハビリ診療は、平成23年4月から新棟2階の通院治療室の隣にリハビリ室が設置され、がんのリハビリを中心に開始されました。本年5月末には本館4階へ移転となり、現在新しいリハビリ室での診療を開始しております。我が国でのがん患者を対象としたリハビリは、平成22年度から診療報酬算定項目として認められて、本格的にスタートしました。がんのリハビリとは、がんのステージに合わせて各々のゴール設定を行い、ゴールに向かって医療スタッフの共同



作業で行われます。手術ではその副作用を予防

するために、術前呼吸訓練や術後の早期離床を目的としたリハビリを行います。術後は手術で失った機能の訓練や、機能障害を予防するための計測や指導を行います。がんが進行して症状が悪化した場合は、機能回復或いは維持を目的としてリハビリを行います。また化学療法や放射線治療で長期入院となった場合、入院中は在宅に比べて体動範囲が狭まりますので、体力や筋力の維持目的でリハビリを行うこともあります。リハビリ診療は医師、看護師、リハビリスタッフの共同作業であるため、今回病棟に距離的に近くなったことで、さらに多職種連携が容易になり、入院中の患者さんもアクセスしやすくなりました。今回のリハ室移転により、がん患者の皆様に対してさらに充実したサポートが提供できるよう努力して参りますので宜しく願い申し上げます。

(整形外科医長 杉原 進介)



医者のつづき リレーエッセイ



● 第十回 アイドルの誕生

『アイドル』は時代によって解釈が、人によって対象が大きく異なる。私の赤ちゃん時の写真を貼った『わたしの宝物』というアルバムを母が作っていた。その頃が唯一のアイドル時代だったかもしれない。

先日『楽器を持たないパンクバンド』というキャッチフレーズの女性アイドルグループの新規ファンになった。ライブ映像とか楽しい。2週間で3枚もライブDVDやらBRを買ってしまった。嫁さんには秘密だが。

何しろ歌がパンクだ。うまく歌えたときはすごく良いが、殆どのメンバーは歌い出しの音程が不安定で、失敗したときはひどい。いわゆるヘタウマで、見ていてはらはらする。ルックスは微妙だしトークも下手だが、欠陥があっても一進一退して成長する姿を温い目で見てもらうのが最近のアイドル。一人では不完全な者達が協力して成功する話は誰でも大好きなはずだ。完成した技術を見せる奴はアーティストにすぎない。

私は寝付きに関して完成した技術を持つ。眠くなるまで寝ようとしないので、ベッドで寝付けない時を過ごさない。先日の夜十二時半、布団に入って、眠れない。心配事があるのかと思って心を掘り起こしても、特に増加はない。3時、肩がこっているのかと思って、体をほぐしても、眠れない。4時、

やっと気がついた。寝る前2時間見た『楽器を持たないパンクバンド』のライブの音楽が頭の中に流れ続けていたのだ。耳について離れないが、眠れないのなら丁度良いバックミュージックくらいに思っていた。パンクと名乗るだけあってパワフルだ。“ああ、なるほどね、これがきこえていたら眠れないな”原因が分かったので、『眠れる音楽』なるものを5分聞いて寝た。病院勤めがつかなくて眠れないのではないかと心配していた嫁さんは『何じゃッそら』と言っていた。

寝る前に聴いた音楽が耳について眠れないなんてことが自分に起こるなんて思ってもいなかった。私の頭はカタカタと良く廻り、別のことにすぐに意識が流れ、1つのことに長時間支配されないはずだったが、年のせいで頭の性能が落ちているのかもしれない。

年のせいで性能が落ちるのなら新しい性能をつけたい。で、ギターを買った。コードつてもその意味を初めて知ったが、左手がうまく動かない…でも、目標は空き缶を置いて歌うことだ。新しい研究の研究費が当たって、遠くはなれた病院の患者を診断するシステムの開発を始めた。近くでは右脇に置いた標本が、左脇にないから、他所へ探しに行くようになった。それは以前からかもしれないが…

既に昭和の定年に達したわたしの性能は概ねこれから徐々に後退を続けていくだろうが、局所では日々一進一退を繰り返す。わたしはもう、専門家やアーティストを目指さない。姿を商業的に他人に見てもらわないだけで、前に進まなくても一進一退すればアイドルと同じ、自分から見れば、もう一度アイドルに戻ろう。いや、すでにアイドルかもしれない。

(がん予防・疫学研究部長 寺本 典弘)



10月6日「2019 がん治療の新たなステージをみなさんとともに」をテーマに、年1回実施している四国がんセンター祭りを開催しました。

開催イベントでは、今年もがん検診（乳がん・肺がん）や肺機能検査を無料で実施しました。

そして今年は皆さんに更に楽しんで頂けるように、新たな催しを3個追加しました。1つ目はスタンプラリーです。動物のワッペンを付けた4人の看護師をお祭り会場から探し、動物シールを貰いスタンプカードに貼りつけます。4種類のシールが揃えれば完成！完成された方には、ソフトクリーム交換券やメタボメジャーの景品があり、100個準備していた景品はあっという間になくなりました。三世代で一緒に探す姿はとても微笑ましく、ほっこりさせて頂きました。2つ目は白衣体験です。白衣姿の子供さんを、父兄の方が自



分の携帯で記念撮影！親子で撮影する方もおられました。3つ目はリハビリコーナーです。握力測定や歩く速度を測定し、筋力が低下していないかチェックしました。周りの方と苦笑いながら、自分の老化度を確認することができました。

そして、ボランティアの方々による日舞や、小野中学校、愛媛大学教育学部音楽専攻生の皆さんによる楽器演奏、病院ボランティアとして活動して頂いているの方々による青空市や、書道コーナー、ティーサービスもありました。病院スタッフにもやさしく接して下さり、温かい飲み物を頂くなど交流の場が広がりました。また、焼きたてパン即売会もあり、食べやすい大きさのパンの香りに誘われる等で好評でした。



今回のイベントは患者・家族・地域住民の皆さんと職員が触れ合うよい機会となり、地域に密着した四国がんセンターの様子を皆様にお伝えすることができたと感じております。

最後になりましたが、イベントに協力して頂きましたボランティアの皆様をはじめご参加いただきました皆様に深く感謝致します。楽しいひとときをありがとうございました。

(看護師長 石橋 典子)



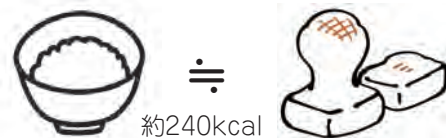
「お餅のカロリーについて」

あけましておめでとうございます。

お正月には皆さん、お餅を召し上がる方が多いと思いますが、ご飯とお餅のカロリーについて知っていますか。

お餅はおやつ感覚で召し上がってしまう方、ご飯の代わりに召し上がる方いろいろいらっしゃると思いますが、ご飯1杯とお餅2個が同程度のカロリーです。

ご飯1杯(小) 150g ≒ 切り餅2個(1個50g)



ここにきな粉をふりかけたり、砂糖醤油をまぶしたりするとさらにカロリーはアップしてしまいます。餡餅や豆もちも同様です。ついつつまんでしまう方、気付けばカロリーオーバーになっている可能性が高いかもしれません。気をつけてください。

病院食ではお餅に代わって、「やわらか福もち」というお餅風の団子を提供しています。お雑煮や鏡開きの時には、制限食以外の方には、少量ですが提供させていただいております。カロリーにして20kcal程度の量とさせていただきますので、ご心配なくお召し上がりください。

(栄養管理室長 鎌田 裕子)

がんセンター ハイ!一句 俳句ポスト



作品が選ばれましたら、四国がんセンターニュースと選者発行の「俳句ライフマガジン『100年俳句計画』」(月刊誌)へ掲載します。

選者：三瀬あき(俳句ライフマガジン「100年俳句計画」発行人)



特選 病棟に夜が又来る秋であり

(清家矢須子さん 71歳・女性)

夜が来て朝が来ることは、毎日繰り返される自然の摂理なのですが、病棟という場所、秋という季節を設定されると、そこにはドラマが生まれます。昼よりも夜が長くなってゆく秋。冬が来て春になって、そして早くまた、朝がきますよう。



特選 病窓に帰り道あり秋夕焼

(Y.Bさん 50歳・女性)

窓から見下ろすと、道がある。自分の家への帰り道かもしれないし、私以外のだれかの帰り道かもしれません。病院の窓ということで、今はその帰り道を通ることの出来ないさみしさが伝わります。秋夕焼のあかね色が、作者の気持ちそのものなのでしょう。



皆さんの「一句」募集中

患者さんのご要望で生まれた四国がんセンターの俳句ポスト、「ハイ!一句ポスト」。大変ご好評をいただいております。設置場所は、各階エレベーター前、図書コーナー、総合案内、支援センター「向日葵」で、作品は随時募集中です。患者さん、ご家族、面会の方、職員、どなたでも気軽にご投稿ください。皆さんの「自慢の一句」「楽しい一句」をお待ちしております。

入選 三色の園庭遊具小鳥来る

(I.Fさん 91歳・女性)

すべり台、ジャングルジム、ぶらんこなど、遊具を想像するだけで、温かい気分になります。加えて、もっとカラフルな気がしていましたが、意外に三色くらいの配色のものもあるんだろうな、と想像させられました。季語は「小鳥来る」。秋になったらわたってくる小鳥たちを、園庭で遊ぶ子どもたちのごとと重ね合わせたのでしょうか。

入選 嘘ひとつ金木犀の香にむせて

(K.Hさん 81歳・女性)

金木犀の香りにむせながらつく嘘は、他人をだますための悪い嘘ではないと思えます。

入選 7階の窓いっぱい秋ゆやけ

(森本敬三さん 70歳・男性)

高い位置からぐるり見渡せる夕焼け、きっと見事な景色なのでしょう。

入選 びょういんにさみしい10日がんばるぞ

(さーちゃんさん 8歳・女子)

下五の「がんばるぞ」の気持ちを季語にたくしてみると、また素敵な俳句に生まれ変わりますよ。たとえば「冬うらら」「冬の月」「冬銀河」。さーちゃんの気持ちにはどれがぴったり来ますか？

治療中の働き方に関する相談を実施しています!

～就職・就労相談状況のご報告～ 平成29年4月～令和元年11月



治療と
仕事の
両立支援

四国がんセンターは、
がん患者さんの“働きたい!”
をサポートしています。
お気軽に、スタッフまで
お声掛けください。

ちりょうさ

厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

《新しく仕事を探している方のための就職相談》

相談延べ人数 315人 就職延べ件数 77件

《仕事を続けたい方のための就労相談》

相談延べ件数 57件

相談者の
声

「病院で仕事の相談ができと思わなかった」
「話ができ、気持ちが楽になった」
「病気になった私でも、できる事があると思えた」

【お問い合わせ】がん相談支援センター TEL:089-999-1114



「ソシンロウバイ(素心蟬梅)」(東温市田窪)
撮影：高市 瑞穂

外来診療一覧表

●新患受付時間 7:30~12:00
●診療時間 8:30~17:15
休診日：土・日・祝日及び年末年始

担当医は変更となる場合があります
のでご了承ください

四国がんセンター概要

〒791-0280
愛媛県松山市南梅本町甲160
TEL:089-999-1111
FAX:089-999-1100
https://shikoku-cc.hosp.go.jp

環境

“いで湯と城と文学の街”ここ愛媛の松山はノスタルジックあふれる城下町。当院はこの城下町の南東に位置し、東に霊峰石鎚、北に道後温泉、西に伊予灘を望み、自然に恵まれた最高の療養環境に立地しています。交通機関も伊予鉄巡回バスの運行など便を増やすことで来院も便利になりました。今後とも患者さんの視点に立った細かな配慮を心がけ、西日本を代表する「がん専門病院」として精進いたします。

診療内容

- | | |
|-----------|--------------|
| 呼吸器内科 | 乳腺外科 |
| 呼吸器外科 | 婦人科 |
| 消化器内科 | 頭頸科・甲状腺腫瘍科 |
| 消化器外科 | 骨軟部腫瘍・整形外科 |
| 精神腫瘍科 | 形成・再建・皮膚腫瘍外科 |
| 緩和ケア内科 | リハビリテーション科 |
| ストーマ外来 | リンパ浮腫 |
| 禁煙外来 | 放射線診断科 |
| 泌尿器科 | 放射線治療科 |
| 血液腫瘍内科 | 病理診断科 |
| 感染症・腫瘍内科 | 歯科 |
| セカンドオピニオン | 麻酔科・疼痛外来 |
| 遺伝性がん診療科 | がんドック |
| がん看護外来 | 原発不明がん診療科 |

病床数 368床

当院は予約制を行っており、予約患者さんを優先しております

診療科		月	火	水	木	金	
消化器	内科	食道・胃・大腸	梶原(化)	仁科(化)	仁科(化)	梶原(化)	中舎(化)
		肝・胆・膵	西出(内)		堀(内)	日野(化)	長谷部
	外科	食道・胃	灘野	浅木	寺尾		灘野
		大腸		羽藤		野崎/香川	
呼吸器	内科	肝・胆・膵	小林	落合		予★小島	予★落合/★小島
		内科新患		大田		御厨	
	外科	内科	○原田	野上	○野上	上月	原田
		内科	○上月				
緩和ケア・精神腫瘍科	内科	内科	山下(素)	上野	末久	山下(素)	牧
		外 科	予禁煙外来			○末久	○牧
	泌尿器科	三浦(緩和)	谷水(緩和)	成本(緩和)	落合(精神)	三好(緩和)	
		○橋根		橋根		○松村	
血液腫瘍内科	○富田		○松村		○富田		
	○新井		○井内		○井内		
婦人科	竹原	予婦人科医師	竹原	予婦人科医師	大亀/藤本		
	友野		大亀		横山/友野		
乳腺外科	横山		藤本				
	青儀	大住	高橋	高橋	青儀	大住	
形成外科	高嶋		○三好		高嶋	三好	
	○山下(昌)	○山下(昌)	○河村		○杉原	○杉原	
皮膚科	○藤山	△藤山	藤山		○藤山	○藤山	
	門田	○担当医	門田	○担当医	岸野	岸野	
頭頸科・甲状腺腫瘍科(耳鼻咽喉科)	秋定		岸野		秋定	秋定	
	林		林				
骨軟部腫瘍・整形外科	○杉原		○杉原	△杉原	○杉原	○杉原	
	○清野		○清野	清野	○清野	○清野	
放射線	診断科	菅原	桐山	清野	菅原	細川	
	治療新患	片岡	片岡	神崎	上津	上津	
	治療科	神崎	神崎	上津	神崎	★片岡/★神崎	
		上津	上津	片岡	片岡	★神崎/★片岡	
予ストーマ外来	小林	落合	橋根	小島	△小島/☆落合		
予リンパ浮腫外来		○河村		○山下(昌)	△清藤		
リンパ浮腫ケア外来		リンパ浮腫ケア(自費)			リンパ浮腫ケア(自費)		
予麻酔/疼痛外来		武智/正岡(隔週)			予首藤		
原発不明がん診療科		△青儀					
予セカンドオピニオン	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
予がんゲノム医療外来	担当医	担当医	△担当医	担当医	担当医	担当医	
予遺伝性がん診療科	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	
がんドック	酒井	徳永	酒井	徳永	酒井	酒井	
内視鏡生理検査	日野	治療内視鏡	日野	坂口	寺尾		
	堀	治療内視鏡	西出	西出	堀		
	長谷部	治療内視鏡	長谷部	長谷部	西出		

予…予約のみ ○…午前のみ △…午後のみ ★…奇数週 ☆…偶数週 (化)…化学療法担当 (内)…内視鏡治療担当
※診療担当は変更する場合がありますので、事前にご確認ください。

TRAFIC ACCESS 交通のご案内

車でのお越しの場合

- 松山空港から車で 約45分
- JR松山駅から車で 約30分
- 松山市駅から車で 約25分

松山自動車道

- 松山インターから車で 約20分
- 川内インターから車で 約20分

電車・バスでお越しの場合

松山観光港 → ヒストンバス 約2分 → 高浜駅 → 伊予鉄道 横河原線 約41分 → 大手町駅 → 徒歩 約5分 → JR松山駅 → 徒歩 約22分 → 梅本駅 → 徒歩 約8分 → 四国がんセンター前 → フィーダーバス 約3分 → 四国がんセンター

松山観光港 → リムジンバス 約20分 → JR松山駅 → 徒歩 約5分 → JR松山駅 → 徒歩 約22分 → 梅本駅 → 徒歩 約8分 → 四国がんセンター前 → フィーダーバス 約3分 → 四国がんセンター

松山空港 → リムジンバス 約15分 → JR松山駅 → 徒歩 約5分 → JR松山駅 → 徒歩 約22分 → 梅本駅 → 徒歩 約8分 → 四国がんセンター前 → フィーダーバス 約3分 → 四国がんセンター

松山空港 → リムジンバス 約23分 → JR松山駅 → 徒歩 約5分 → JR松山駅 → 徒歩 約22分 → 梅本駅 → 徒歩 約8分 → 四国がんセンター前 → フィーダーバス 約3分 → 四国がんセンター

松山空港 → リムジンバス 約23分 → JR松山駅 → 徒歩 約5分 → JR松山駅 → 徒歩 約22分 → 梅本駅 → 徒歩 約8分 → 四国がんセンター前 → フィーダーバス 約3分 → 四国がんセンター

松山空港 → リムジンバス 約23分 → JR松山駅 → 徒歩 約5分 → JR松山駅 → 徒歩 約22分 → 梅本駅 → 徒歩 約8分 → 四国がんセンター前 → フィーダーバス 約3分 → 四国がんセンター